



**まつど未来づくり会議**  
～松戸の強みを活かした未来への指針づくり～

# **都市経営分科会**

## **発表用資料**

**イマジンまつど**  
～私たちの明るい未来をつくる～

**平成21年11月7日（土）**

# 分科会委員

- 新井 靖
- 小林 恵一
- 齊藤 利信
- 清水 一（分科会長）
- 竹林 清
- 中村 美枝子
- 若林 桂子（副会長）
- 津川 正治
- 加藤 和彦
- 岡村 隆秀



# 開催状況



- **第1回**：平成21年8月7日（金）17時10分～19時
- **第2回**：平成21年8月27日（木）16時～19時
- **第3回**：平成21年10月1日（木）17時～20時
- **第4回**：平成21年10月20日（火）17時～20時40分



### 政策22:市民ニーズに基づく行政経営を行う

目指したい姿の宣言文:

50万市民の満足度向上のために、継続的な対話を経た力強い連携による政策の仕組みづくりをすることによって、経営基盤が強化され、安心して住みやすいまちを実現する。

#### 市民の

「市民の暮らし」  
に寄り添って  
「まちづくり」を  
進めたい

市民  
の声を聞いて  
自分たちのまち  
を良くする

市民の  
声を聞いて

各種団体  
「育成」  
(活発化)

市民団体の  
活性化

防犯組織の  
強化

市民は自治の中心  
メンバー

自治会や  
NPO等の  
活動の  
活性化

市民  
の意見や  
要望を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

#### 市民の

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

市民の  
意見を  
自治会  
に伝える

#### 指標案

(何が高まっていたらいいと思います)

市民の  
満足度

市民の  
満足度

信頼度

職員  
の満足度

市民の  
満足度

市民の  
満足度

市民の  
満足度

## 第6節 都市経営の視点に立った行財政運営

1. 市民ニーズに基づく行政経営を行う
2. 財源、財産を適正に管理し、配分する



**市民ニーズに基づく行政経営を行う**

# 目指したい姿の宣言文



**50万市民の満足度向上のために、継続的な対話を経た力強い連携による政策の仕組みづくりをすることによって、経営基盤が強化され、安心して住みやすいまちを実現する**



# 指標案



- **市民の満足度（住み続けたいと思う人の割合）**
- **市民からの信頼度を測れる指標**
- **職員の達成感を測れる指標**

# 市民の役割



- **ご近所づきあいやボランティア参加など身近なところから始め、公共への関心を高めて、地域や世代間などいろいろなところで対話を行う**
- **市民は、市政協力委員、町会・自治会、防犯組織などが活性化するようにできる範囲で参加する**
- **市民は行政に関心をもち、自分が主役だという意識をもち、一人ひとりが原動力となる**
- **市民は自ら考え、氏名を公表して行政や町会・自治会などに提案をする**

# 行政の役割

- 市は、市民ニーズや満足度を定期的に把握し、市政に反映する仕組みづくりを行う
- 市は、政策の公平性・公正性を確保する
- 市職員は、市民のために、自らスキルアップを行う
- 市は、説明責任を果たし、市民と情報共有できるようにする
- 市は、市民や職員からの新しいアイデア・提案については、氏名を公表して表彰する



**財源、財産を適正に管理し、配  
分する**

# 目指したい姿の宣言文

**市民ニーズに弾力的に応えられる活力に満ちた松戸市となるために、将来を見越した柔軟かつ大胆な発想で歳入・歳出とも見直すとともに、社会資源の有効活用を図ることを通して、発展性のある健全な財政運営を実現する**

# 指標案



□ 財政力を測れる指標

□ 歳入と歳出のバランスを測れる指標

□ 市民満足度

# 市民の役割



- **市民は、積極的に情報を取得し、市の財政状況をチェックする**
- **市民は、政策が実現されているかを確認し、市政を見守る**
- **市民は、行政だけをあてにすることはせず、自らできることは、自分で行うようにする**
- **納税者は納税義務を果たし、サービスに対する負担をする意識をもつ**

# 行政の役割

- 松戸の魅力を高めるような政策を生み出す仕組みづくりを行う（企業の協力による松戸ブランドの創造、観光拠点の開発）
- 財政状況に関する透明性を確保するため、積極的にわかりやすい情報を発信する
- 広告収入など税以外の収入も検討し確保する
- 社会資源が有効に活用されているか成果（どんな未来を描けるか）を評価する
- 市の資産（土地、建物だけでなく文化的、自然的、人的資産も含む）を有効活用する
- 市民力を活用するための仕組みづくりを行う



# 強調したい・伝えたい具体的な提案・メッセージ

## □ 政令指定都市化に向けた研究の継続

- **東葛広域行政連絡協議会（政令指定都市問題研究会）** → 約140万人
  - ▶ 松戸市（48万）、柏市（39万）、流山市（16万）、野田市（15万）、我孫子市（13万）、鎌ヶ谷市（10万）
- **松戸市・柏市（政令指定都市研究会）** → 約88万人
  - ▶ 松戸市（48万）、柏市（39万）
- **東葛飾・葛南地域4市（政令指定都市研究会）** → 約166万人
  - ▶ 松戸市（48万）、船橋市（59万）、市川市（47万）、鎌ヶ谷市（10万）

# 今回の取り組みに対する分科会長としての思い

当初は、どうまとまるか不安で始まった分科会でしたが、10名の思いがまとまり、皆さんにお伝えできることになり、ほっとしています。

普段では、話すことのない方、市役所の職員、ひざを交えて、真剣な会議ができたこと、とても貴重な会であったと思います。

これからも、このような会が継続され、市政の手助けになればと思います。

皆さん、お一人、お一人のご協力に感謝し、私の感想とさせていただきます。